

2023 ボランティア研修会開催

去る 9 月 12 日（火）に、今年度のボランティア研修会を梅丘地区会館にて開催しました。コロナ禍も 5 月の 5 類移行後、やや沈静化してきた中での開催で 9 名のボランティアが参加しました。今年は、区の協力のもとで例年開催している「住まいあんしん訪問サービス」を担当する新規ボランティア募集を止め、登録ボランティアを対象に「支え合いのためのコミュニケーション～より良いボランティア活動を目指して～」をテーマとして開催しました。

長く続いたコロナ禍で、ボランティア各位も不安を抱えながら活動参加することへの戸惑いもぬぐい切れないでいた中、忘れかけていたボランティアな活動の基本に立ち戻り、みんなで自由に話し合う場としました。講師は昨年につき NPO せたがや福祉サポートセンター代表の光岡明子さんが担当してくれました。

ボランティアとして大切なことは何か、活動の心得と留意点、ボランティアとして困ったこと・したことなどについてグループワークを行いました。

そして、たすけあいネットは今後どのように進めていくかについて、参加できなかったボランティアも含め全員にアンケートを実施することを決めました。

ボランティア研修会に参加して

宇野あさこ

ボランティア研修が開催され、司会進行を NPO リンク代表の光岡さんをお願いして、9 名が参加しました。

自己紹介を兼ねて、「なぜボランティアをはじめたのか」「ボランティアの課題」を発表し、話し合いながらボランティアについての理解を深めました。

ボランティアのきっかけは仕事の退職などの区切りで、時間ができた時に何か自分にできることはないかと思われた方が多かったです。

課題は、コロナによりこちらの活動ができないことが増え、お断りすることが 3 年ほど続き、再開し始めているけれどもご依頼が減ってしまったこと、そしてボランティアも活動しない生活に慣れてしまったり、高齢となりできることが限られるようになっていたりして、サポートの必要な方とどんなふうに関わっていけるかという心配がでてきたこと等があげられました。



熱心にグループワークをしました

最近の住まいあんしん訪問サービス実績

- 7 月の見守り実績 2 件 訪問 9 回 担当 2 名
- 8 月の見守り実績 3 件 訪問 9 回 担当 3 名

最近の相談事例紹介

- リウマチを患っている人、布団を押し入れ上段へ入れてほしい⇒ 1 名出張
- 脳梗塞を患い手足が不自由な人、組み立て用の食器棚を買ってきたので設置してほしい⇒ 1 名出張
- 庭木が折れて隣家へ侵入したが処理を頼めるか⇒ 大きい木なので断った
- 雑草取りを頼めるか（問い合わせ）⇒ 現地をみて判断したい
- 1 階のベッドを 2 階に移動してほしい⇒ 3 名出張
- マットレスを 2 階から 1 階へ下してほしい⇒ 1 名出張
- エアコンフィルター掃除と物干し竿の修理をお願いしたい⇒ 1 名出張
- 2 階に設置してあるキャビネットを 1 階へ卸してほしい⇒ 2 名出張

世田谷たすけあいネットニュース



発行責任者:世田谷たすけあいネット 代表 駒澤 重光



世田谷たすけあいネットは人の応援が欲しいとき「手をかして」と気軽に言える、「あったかな地域」づくりをめざしています。平成16年5月開始以来、高齢者の暮らしの困り事や悩みごとを解決すべく「無料で電話相談」にお応えして、情報の提供やボランティアの出張サポートを行っています。

たすけあいネットニュース第100号達成！

代表 駒澤重光

世田谷たすけあいネットニュースが100号を迎えました。よくぞここまで続けてきたものだと感慨ひとしおです。これからもこの活動を伝え続ける媒体でありたい。ちょっとたすけてという街の声にこたえるこの活動は、かつてはお隣同士でたすけあっていた当たり前を社会活動という形で再現しようとするものなのかもしれない。そうであれば、対応可能な依頼には、真摯に向き合っていきたいものです。

たすけあいネットに期待すること

NPO せたがや福祉サポートセンター代表
光岡明子

NPOリンクは“地域ネットワークの構築と居場所作り”をミッションとして、「たすけあいネット事業」「サポート事業」「第三者評価事業」の3つを柱に23年目を迎えています。

サポート事業では、ひこばえグループ(おとこの台所・ここからカフェ・子ども食堂・コーデ騎士団、等)の居場所23か所を支援していますが、今回の4年に亘るコロナ禍により、殆どの居場所が中止せざるを得なくなりました。

高齢者・障害者が月2回利用する会食会が閉ざされ、利用者・スタッフとも高齢化・重度化が進んでいます。毎月会える仲間がいることが、どんなに心強く大切かを実感したそうです。

コロナ禍の方向性が定まった今こそ、ボランティアとして人に喜ばれると同時に仲間作りが出来る「世田谷たすけあいネット」の活動に期待しております。

たすけあいネットニュース第100号発行にお祝いを申し上げます。

ニュース100号発行のお祝い

前たすけあいネット代表 大矢和親

世田谷たすけあいネットニュース100号の発行おめでとうございます。ニュースは隔月の発行ですから、1年間に6回の発行として、17年もの長い期間に発行を続けられたことになります。

スタッフの皆様が、熱心で地道で根気を要するご努力で取り組まれた結果だと心から敬意を表します。

良い機会だからと手元にある過去のニュースを読み返してみました。

そこには大勢の懐かしい先輩方のお名前や写真で溢れており、そしてたすけあいネットが取り組んだ諸事業の記録、例えば高齢者住宅安否確認事業、女性のための就業バックアップ相談事業、社協の徘徊SOSネットワーク事業、都立光明学園の登下校補助活動等々の記事が満載でした。

単なるノスタルジーではなく、世田谷たすけあいネットという一つの団体の貴重な活動歴史です。制作スタッフの皆様には、引き続きお手数をおかけしますが、世田谷たすけあいネットが活動を続ける限りは、この貴重なニュース発行活動も継続して戴きますようお願い申し上げます。

電話相談日：毎週火曜日 10：00～17：00 次回ボランティアミーティング 11月28日第4火 13：00～

Tel 03-6413-1506 Fax 03-6413-1556

●相談日以外は取り次ぎします